

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年5月28日(2025.5.28)

【国際公開番号】WO2024/058091

【出願番号】特願2024-546931(P2024-546931)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/023(2014.01)

C 0 9 D 11/106(2014.01)

C 0 9 D 11/107(2014.01)

C 0 9 D 11/108(2014.01)

B 0 5 D 7/24(2006.01)

B 4 1 M 1/30(2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/023

C 0 9 D 11/106

C 0 9 D 11/107

C 0 9 D 11/108

B 0 5 D 7/24 3 0 1 F

B 4 1 M 1/30 D

10

20

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月7日(2025.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

(A) 塩化ビニル系樹脂エマルション、および／または、アクリル系樹脂エマルションと、

(B) ポリオレフィン系樹脂エマルション、および、(C) アルカリ可溶性樹脂の少なくとも1種と、を含有し、

前記(A)が、ケト基またはアルデヒド基に由来するカルボニル基を有するものであり、さらに、(D) ヒドラジノ基またはセミカルバジド基を1分子当たり少なくとも2つ有するヒドラジン誘導体を含む、水性インク組成物。

【請求項2】

前記(A)、(B)および(C)を全て含有し、前記(A)、(B)および(C)の配合比率が(A) 20重量%～90重量%、(B) 5重量%～40重量%、および(C) 5重量%～40重量%である、請求項1に記載の水性インク組成物。

40

【請求項3】

前記(C)が、ケト基またはアルデヒド基に由来するカルボニル基を有するものであり、さらに、(D) ヒドラジノ基またはセミカルバジド基を1分子当たり少なくとも2つ有するヒドラジン誘導体を含む、請求項1または2に記載の水性インク組成物。

【請求項4】

前記(B)が塩素化ポリプロピレン樹脂エマルションである、請求項1または2に記載の水性インク組成物。

【請求項5】

さらに、(E) 顔料を含む、請求項1または2に記載の水性インク組成物。

50

【請求項 6】

前記（Ａ）塩化ビニル系樹脂エマルションが、下記工程 1 および工程 2 を行うことにより得られる複合樹脂のエマルションである、請求項 1 または 2 に記載の水性インク組成物：

【工程 1】

（a 1）塩化ビニル単量体 90 重量部超 100 重合部以下と、（a 2）塩化ビニル単量体と共重合可能なエチレン性不飽和単量体 0 以上 10 重量部未満と、からなる単量体混合物（ここで、（a 1）および（a 2）の合計量は 100 重量部である）を乳化重合して、塩化ビニル樹脂を得る工程、

【工程 2】

前記塩化ビニル樹脂の存在下で、（b 1）（メタ）アクリル酸アルキルエステル 50 重量部～100 重量部と、（b 2）（メタ）アクリル酸アルキルエステルと共重合可能なエチレン性不飽和単量体 0～50 重量部と、からなる単量体混合物（ここで、（b 1）および（b 2）の合計量は 100 重量部である）を乳化重合して、アクリル含有樹脂を得る工程。

【請求項 7】

前記（Ｃ）が乳化重合にて得られたものである、請求項 1 または 2 に記載の水性インク組成物。

【請求項 8】

基材に、請求項 1 または 2 に記載の水性インク組成物を印刷して得られた印刷物。

10

20

30

40

50